

<校訓>

高志共生

大庄中通信

大庄中学校  
H25年度第13号  
(H25.9.17・火)

## 全国学力・学習状況調査 結果と分析 (大庄中)

8月27日に、本年度の全国学力・学習状況調査(以下、「全国学力調査」とします)の結果が発表されました。学校には、新聞に発表された内容以外に詳しいデータも届いていますし、文部科学省のホームページにはいろいろなデータも載っています。それらの一端を紹介したいと思います。

問題用紙と解答用紙は返ってきませんが、個人票は金曜日に渡すことになっています。ぜひ、次からのいろいろなテストに役立つように活用してほしいと思います。

新聞には、兵庫の中3の国語Aの平均正答率は76.8%、全国の国語A平均正答率が76.4%、都道府県別の平均正答率は…といった数字が並んでいましたが、このような、平均正答率や順位などの数字だけにこだわってしまうと、好ましくない方向に進んでしまいます。そうならないためにも、別の視点からの大庄中の傾向と課題をお知らせしたいと思います。

### 平均正答率と平均正答数…配点はどの問題も同じ

まず、「平均正答率」76.8%というのは、100点満点で平均点が76.8点ということではありません。この「全国学力調査」は、問題ごとの配点が全て同じです。今年の中3の国語Aでは32問の問題がありました。各生徒が、そのうち何問を正解したかの平均を%で示したものが「平均正答率」です。国語Aでは、文章を読んで二十字から二十五字で答えを記述する問題も、4つの選択肢から正解を選んで記号で答える問題も、同じように1問の正解として集計されます。ですから、生徒数5人のクラスで、正解の数が、Aくん15問、Bくん20問、Cくん25問、Dさん25問、Eさん30問だったとしましょう。このクラスの平均正答数は $(15+20+25+25+30) \div 5 = 115 \div 5 = 23$ 問となり、このクラスの平均正答率は、 $23 \div 32 = 71.9\%$ ということになります。

### あと2問正解で全国平均と同じ(国語A)

今回、大庄中3年生の国語Aの平均正答数は、全国平均にあと2問だけ足りませんでした。計算上は、全員があと2問ずつ正解したら全国平均と同じということです。同じように、国語Bは、問題数が9問で、本校平均と全国平均との平均正答数の差は、0.6問でした。これも計算上ですが、学年の生徒の半分ちょっとの人があと1問正解すれば、全国平均と同じになります。数学Aは、問題数36問で全国の平均正答数には3.9問足りませんでしたし、数学Bは、問題数16問で全国の平均正答数に1.5問足りませんでした。このように、大庄中ほどの教科も全国の平均正答率には届いていませんが、平均正答数では、どの教科も、あと何問かだけ正解が増えれば、全国平均に手が届くということだったのです。

### 「もったいない」解答の仕方が多い



pixta.jp - 5296586

大庄中の、問題別の結果を見ますと、国語Aで漢字を書く問題(3問)で23.4%(34人)の無答者がいる問題が2問あったり、漢字を読む問題でも13.8%(20人)の無答者がいたり、正解の取りやすい問題での無答が目立ちました。また、今回の調査の国語Aは、全32問中17問が選択肢から正解を選ぶ問題です。数学Aも、全36問中18問が選択肢から正解を選ぶ問題でした。選択肢以外でも、2倍の大きさの長方形を書くだけの問題、時差の問題で4-1-1を計算するだけの問題など、ものすごく簡単な問題も何問もありました。数学Bでも、数字の書いてあるグラフを見ながら10分間で上がった温度を答えるだけの問題(大庄中正答率は57.9%、無答者が15人)、1つの辺に5個ずつ基石を並べて三角形を作った時に必要な基石の数の合計を求める問題(大庄中正答率53.1%、無答者21人)など、問題を読むだけで正解にたどり着けるような問題で、もったいないことをしている人も目立ちました。

紙面の関係で、すべては書けませんが、大庄中の生徒は「もったいない」答案の書き方をしている人がとても多いのではないのでしょうか。問題が見慣れない分厚い冊子になっていて、時間のかかる問題が前の方にあったりもします。テストの始めに問題の全部を見渡して、時間のかかる問題(国語なら長文問題、数学なら証明など)はあとに回す、記号(選択肢)の問題や問題を読むだけで答えがわかる問題は必ず答えを書く、といったことを全員が実行するだけで、平均正答数も平均正答率も上がるように感じました。

## 生徒質問紙での傾向

この「全国学力調査」では、83問の生徒質問紙もあります。大庄中と県や全国の数字と比べて特徴的な質問をいくつか紹介しておきます。

### 家庭学習時間が少ない

まず、家庭学習時間(塾・家庭教師をふくむ)は、県や全国に比べて、かなり少ない数字でした。

平日の家庭学習時間3時間以上→県10.0%・大庄4.1%、30分より少ない→県9.7%・大庄17.9%、全くしない→県6.6%・大庄13.8%という結果でした。これは休日も同じ傾向でした。平日のテレビ・ビデオ・DVDの時間が4時間以上→大庄21.4%・全国14.0%、平日のテレビゲーム(コンピュータ・携帯のゲームをふくむ)が4時間以上→大庄11.7%・全国7.3%でした。家で学校の宿題をしている→大庄45.5%・全国62.4%、家で学校の授業の予習をしている→大庄2.1%・全国11.1%、家で学校の授業の復習をしている→大庄9.7%・全国17.2%など、ずっと指摘されていますが、今回の調査でも家庭学習時間の少なさがわかりました。

### 起床時間は遅め…でも、お手伝いはよくしている

平日、何時ごろに起きますかの「6時より前」→大庄3.4%・全国11.4%、「6時半より前」→大庄9.7%・全国28.3%、からは、朝寝坊の傾向がわかりました。また、家のお手伝いをしていますかの「よくしている」→大庄31.0%・全国20.8%、で、これは自慢できることでしょう。

### 将来の夢や希望を持っている人は多い

将来の夢や目標は持っていますか「当てはまる」→大庄56.6%・全国47.4%、将来なりたい職業はありますか「ある」→大庄80.0%・全国69.5%、将来の夢や目標を実現するために努力していますか「当てはまる」→大庄31.7%・全国27.7%、でした。夢や目標をもって努力している生徒が多いというのも、自慢できることですね。



(文責:校長 福井 隆夫)